



平成24年7月30日

『ガバナー卓話』

国際ロータリー第2750地区ガバナー

佐久間 崇源 様

この例会に先立ち会長の松島さん、会長エレクトの平松さん、幹事の関口さんとクラブの現状について話し合いました。バランスのとれた本当によいクラブ運営をしていらっしゃるというのが実感です。

ガバナー訪問の目的の第1はRIのテーマ、RI会長の思い、強調事項、ガバナーの新年度の方針などを直接皆さんにお話しすることです。今年度、RI国際ロータリーの会長になられた田中さんは、2012～13年度のロータリーのテーマを「奉仕を通じて平和を」とされました。ロータリーのビジネスは利益の追求ではなく平和の追求です。ですからロータリアンにとっての報酬は、自分の努力によってより良い平和な世界が実現するのを見届けることにあるとおっしゃっています。

続いて地区の運営基本方針と強調事項です。運営基本方針ではロータリーを楽しもうということを皆様に訴えたいと思います。強調事項ではクラブにおける戦略計画の立案と実践、これが第1。2つ目はクラブまたは地域社会での平和活動の推進。3番目の公共イメージの認知度と強化については、逆にお礼を申し上げたいくらいです。昨年度こちらでポリオ撲滅の広報イベントを実行され、大変な評判を呼んだんですね。それで今年も是非やろうという声が上がって、京浜地区の14クラブの皆さんが羽田空港でロータリーの広報イベントをすると伺っております。

次にこの地区の3分の2を超えるクラブで取り組まなければいけないのが、会員基盤の強化です。会員の維持増強として、私はテーマを3%の純増

としました。これは退会の防止も含んでおります。

次はロータリー財団への支援とロータリー米山記念奨学会への支援です。私は日本人はやさしい民族だと思うんですが、寄付の文化は案外根付いて

ない。それだけにお金を出すことに抵抗を感じる方がまだ多くいらっしゃると思います。奉仕というのは二通りあります。簡単なのは皆さんが自分の体と時間を使ってする奉仕で、これは分かりやすい。もう一つは寄付をすること。ロータリーではそのお金を使って、代わりにだれかが奉仕をしてくださる。寄付というのは循環だをご理解いただきたい。年次寄付は1人100ドル以上。ポリオプラスの指定寄付はクラブで1000ドルを是非お願いしたい。米山記念奨学会への8千万円の支援は例年通りで、何年もこの計画を掲げているのは達成できていないということです。東京という地域とこの地区の人数からすると、これを達成できないのは残念で寂しい感じがします。

今年、田中さんは日本人として30年ぶりにRIの会長になりました。日本のRI国際ロータリーに対する貢献度から言ったら30年ぶりなんておかしいと思うんです。会長さんに私どもが協力出来ることは何だろうか考えると、まず会員増強、もう一つは先ほどの寄付だと思います。この2つで出来るだけ田中さんを支えようというのが私たちの思いであります。ありがとうございました。

